

# 新年度予算の特徴は

平成 31 年度一般会計の当初予算は、総額 99 億 6000 万円で、前年度と比べて 2 億 8000 万円 (2.7%) の減となっています。

## 《歳入について》

町税は、法人町民税が約 2500 万円の増、固定資産税が 9900 万円の増が主な要因となって、合計 1 億 5400 万円の増を見込んでいます。

地方交付税は、合併算定替えによる普通交付税の段階的な縮減などによって 1 億 5000 万円の減を見込んでいます。

借金である町債は、大型事業の終了などによって 3 億 6000 万円の減を見込んでいます。

## 《歳出について》

義務的経費は、人件費、扶助費、公債費すべてが増となっています。

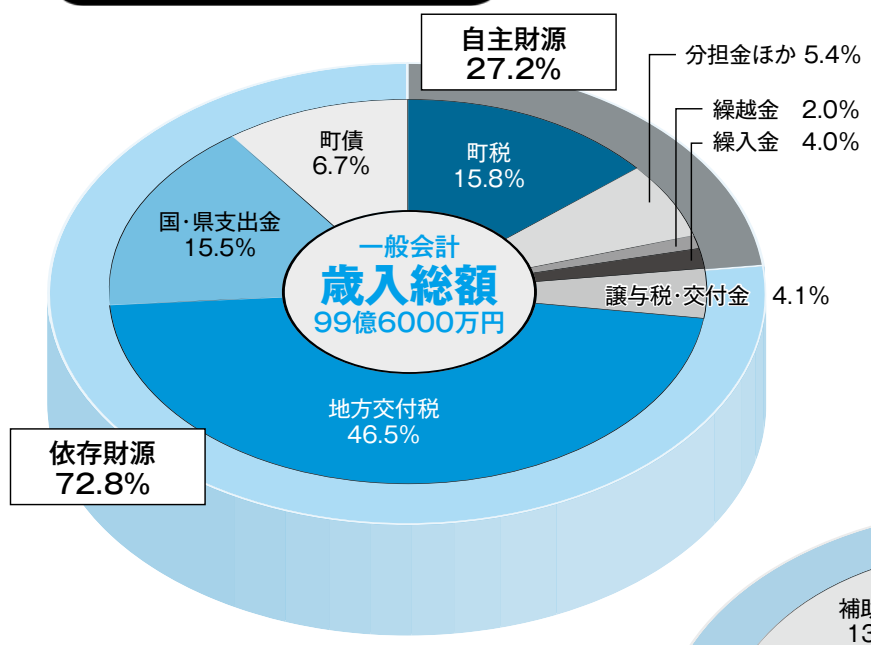
投資的経費は、大型事業の終了によって大幅な減となっています。

新規事業として、こうれい上屋付き多目的広場の整備に 9773 万円、小学校児童用のパソコン更新に 2330 万円、通学路の街灯設置に 1000 万円などを計上しています。

## 一般会計の内訳

項目		31年度	30年度	比較増減	説明
歳入	自主財源				
	町税	15億7234万円	14億1881万円	1億5353万円	町民税などみなさんが直接町に納められるお金
	分担金ほか	5億3782万円	5億1133万円	2649万円	分担金・使用料及び手数料・財産収入・寄付金
	繰越金	2億円	1億円	1億円	前年度からの繰越金
	繰入金	3億9651万円	3億4696万円	4955万円	特別会計や基金から繰り入れるお金
	譲与税・交付金	4億1358万円	4億2902万円	△1544万円	市町村の均衡をはかるために国が交付するお金
	依存財源				
地方交付税	46億3000万円	47億8000万円	△1億5000万円	市町村の均衡をはかるために国が交付するお金	
国・県支出金	15億4235万円	16億2608万円	△8373万円	国や県が使用目的を特定して交付するお金	
町債(借金)	6億6740万円	10億2780万円	△3億6040万円	町が事業を行うために借り入れるお金	
合計		99億6000万円	102億4000万円	△2億8000万円	
歳出	義務的経費				
	人件費	16億4978万円	16億2607万円	2371万円	職員の給料や議員報酬などに使うお金
	扶助費	8億8212万円	8億8193万円	19万円	医療費・児童手当などに使うお金
	公債費(借金返済)	14億105万円	13億7243万円	2862万円	町の借金を返済するためのお金
	投資的経費(普通建設事業)	6億5432万円	8億6656万円	△2億1224万円	道路整備・建物などの建設に使うお金
	物件費	23億607万円	22億6140万円	4467万円	賃金・業務委託料・消耗品・備品購入に使うお金
	補助費等	13億1549万円	13億3864万円	△2315万円	補助金・負担金、自動車や建物の保険料、謝礼金など
	その他				
積立金	1億1339万円	2億3480万円	△1億2141万円	町の基金に積み立てるお金	
繰出金	14億6448万円	14億8123万円	△1675万円	特別会計に繰出金として支出するお金	
その他	1億7330万円	1億7694万円	△364万円	施設の維持補修費、貸付金・出資金などに使うお金	
合計		99億6000万円	102億4000万円	△2億8000万円	

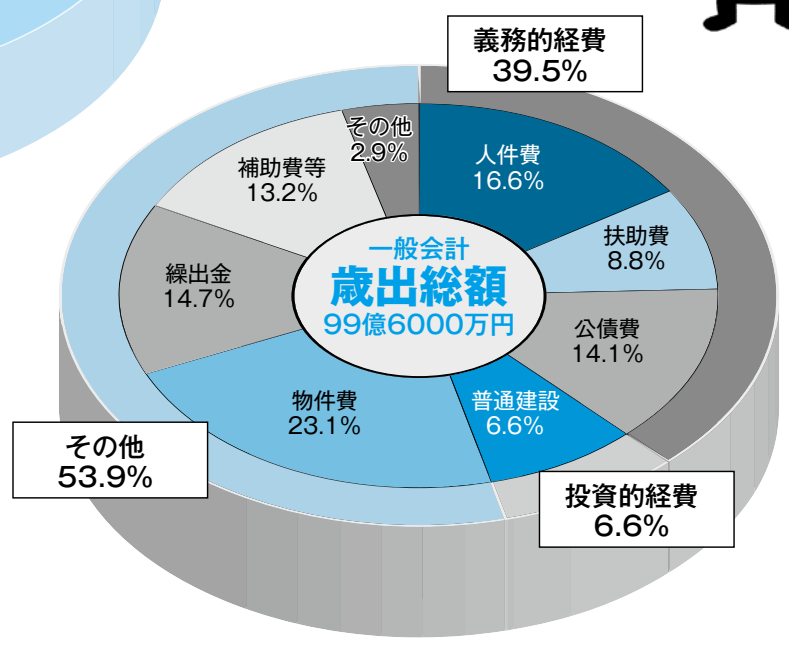
# 入るお金



※自主財源＝町税など、町が集めるお金  
 ※依存財源＝国や県から受け入れるお金



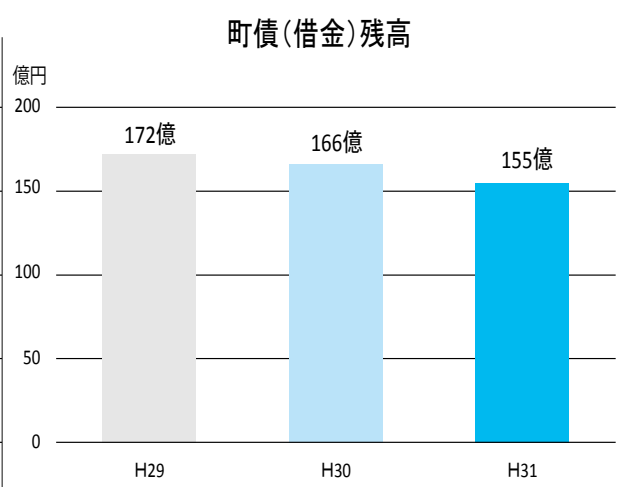
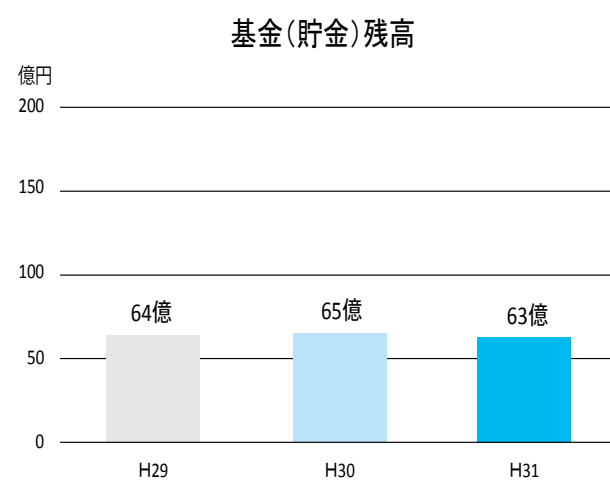
※義務的経費＝必ず支出しなければならない費用  
 ※投資的経費＝道路や建物など、固定的なものをつくる費用



# 使いみち

## 貯金と借金は？

貯金にあたる「基金」＝必要な時に使うことができる貯金で、財政調整基金、ふるさと応援基金、国民健康保険基金、索道事業基金などがある。  
 借金にあたる「町債」＝必要な事業を行う時に借りるお金である。



(平成30・31年度は、見込み)